

“色”重視したデイ、大阪で2棟開設

ヒューマンライフケア



▲天窓や壁は空をイメージした（釈尊寺の湯）

ヒューマンライフケア（東京都新宿区）は、10月1日にデイサービス「ヒューマンライフケア釈尊寺の湯」（大阪府枚方市）「ヒューマンライフケア守口の湯」（大阪府守口市）を同時開設した。両施設とも内装は「色の心理的効果」に着目し、国際カラーデザイン

カラーデザイン専門家とコラボ

ン協会とのコラボレーションによって施設デザインを行っている。

「釈尊寺の湯」は、人と人とのコミュニケーションの円滑化を目指して「虹の架け橋」をコンセプトに、天窓のある食堂兼機能訓練室には「空」を、浴室には「虹」をイメージした色使用とした。また各スペースをレインボーカラーで色分けをし、床や段差、家具などには明度差をつけることで視認性を高めるなど、安全面も考慮した。

「守口の湯」は、「THE GARDEN」をテーマに掲げ、緑に包まれる爽やかな空間を演出。玄関を「SUN」陽のエリア、

食堂兼機能訓練室を「GARDEN」エリア、浴室を「FLOWER」花のエリア、足湯を「WATER」のエリアとし、緑を基調とした内装で、施設内を4つのゾーンに分けて「食欲増進」や「リラックス」などの心理的効果を期待する。また本格的な足湯を設け、足元から健康的な身体づくりをサポートする。

両施設の定員は20名。筋力トレーニングマシン、リフト浴、大浴場は標準装備となっている。

「釈尊寺の湯」のアクセスは京阪交野線「郡津駅」より徒歩10分。「守口の湯」は大阪市営地下鉄今里筋線「清水駅」より徒歩15分。同じく10月1日には福岡県北九州市で、FC店「ヒューマンライフケアわか」とも開設した。



▶足湯はいつでも利用できる（守口の湯）